

平成 24 年 度 事 業 報 告 書

自 平成24年 4 月 1 日

至 平成25年 3 月31日

目 次

I. 一般概要	- 1 -
II. 事務報告	- 2 -
1. 基本財産	- 2 -
2. 評議員等	- 2 -
(1) 評議員（任期：平成24年4月1日～平成28年3月31日）	- 2 -
(2) 役員（任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日）	- 2 -
(3) アドバイザー	- 2 -
3. 会 議	- 2 -
(1) 評議員会の開催	- 2 -
(2) 理事会の開催	- 2 -
(3) アドバイザリー会議の開催	- 3 -
4. 規程の制定および一部改正	- 4 -
(1) 規程の制定および一部改正	- 4 -
5. 事務局機構	- 4 -
6. 届出・登記事項	- 4 -
III. 事業報告【公益目的事業】	- 5 -
1. 普及および振興	- 5 -
(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）	- 5 -
(2) 学校スポーツとしての育成	- 6 -
(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進	- 7 -
(4) ジュニア国際交流事業	- 7 -
2. 競技力の向上	- 8 -
3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催	- 8 -
(1) 全国大会の開催	- 8 -
(2) 地域大会の主催と都道府県大会への支援	- 11 -
4. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘 ...	- 11 -
(1) アジアゲートボール組織の支援・充実（日本財団助成事業）	- 11 -
(2) 海外派遣事業（日本財団助成事業）	- 13 -
(3) 国際大会への日本チーム、国際審判員の派遣協力（日本財団助成事業） ..	- 14 -

5. 競技規則に関すること	- 14 -
6. 指導者の養成	- 14 -
(1) 指導者の育成（日本財団助成事業）	- 14 -
(2) 公認指導者の養成	- 15 -
7. 審判員の養成および認定	- 18 -
(1) 国際審判員資格試験の実施	- 18 -
(2) 審判員資格試験の実施	- 19 -
(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施	- 19 -
(4) 永年審判員登録者数	- 19 -
8. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定	- 24 -
9. ゲートボールに関する刊行物の発行	- 24 -
10. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	- 24 -
(1) 功労者等の表彰	- 24 -
(2) 国民体育大会	- 24 -
(3) 各種大会への後援	- 25 -
(4) 調査・科学的研究の推進および事故防止	- 25 -
(5) 広報事業	- 28 -
(6) 会員データシステムの構築・整備	- 28 -
(7) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集	- 29 -
(8) 東日本大震災復興支援事業	- 30 -
【参考：各種名簿】	- 31 -
別表第1 評議員：任期4年（7名以上10名以内）	- 31 -
別表第2 理事：任期2年（7名以上10名以内）	- 31 -
別表第3 監事：任期2年（2名以内）	- 31 -
別表第4 アドバイザー	- 32 -
別表第5 事務局組織図	- 32 -

I. 一般概要

公益財団法人日本ゲートボール連合（日本連合）では、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的に、誰でも気軽にできるスポーツ「ゲートボール」の普及のため多様な事業を積極的に展開している。

日本連合は、内閣府の認可を得て、平成24年4月1日より公益財団法人としての活動を開始している。

平成24年度は、加盟団体の組織強化ならびに改革を図るために日本財団の助成を得て平成21年度から実施した「加盟団体連繋プログラム」事業を踏まえて、「基礎的条件等の整備事業」を普及事業の中心に据え、上級指導者用の教本作成の準備、普及に不可欠な指導員の養成・研修、新規用具の開発、ホームページの一部リニューアル等のほか、「加盟団体連繋プログラム」対象加盟団体のフォローアップ、個人会員登録システムの構築等を行い、多大の成果を得た。

また、愛好者の底辺拡大と次世代愛好者の育成のため、全国ジュニアゲートボール大会をはじめ、中学・高校のゲートボールクラブ育成を支援するモデル指定校事業を実施したほか、競技スポーツとしてのゲートボールをアピールするため、公認審判員の養成、技能認定制度の実施等の各種事業を実施した。

さらに、平成27年の和歌山国体より公開競技として参加することから、具体的な競技要項について検討したが、日本連合では、さらなる普及のため、引き続き正式競技種目採択を目指して運動を継続した。

一方、広く一般にゲートボールを広報するため、情報誌「ゲートボールNavi」の発行、通信衛星放送番組の放映、ならびに、ホームページの随時更新により、積極的な情報発信に努めた。

海外普及関係では、マカオで開催した第6回アジアゲートボール選手権大会に積極的に協力したほか、世界ゲートボール連合ならびにアジアゲートボール連合と連携し、海外交流大会への選手派遣、ゲートボール普及の兆しのある国・地域への指導員派遣等、海外へのさらなるゲートボール普及に努めた結果、新たに、フィリピンゲートボール連合が世界ゲートボール連合に加盟した。

なお、平成23年に発生した「東日本大震災」の被災地復興に向けては、被災地のニーズに応じた支援活動を引き続き実施するとともに、日本財団等の支援活動に協力した。

以上、関係行政機関・団体と協調して以下の事業を実施した。

II. 事務報告

1. 基本財産

平成25年3月31日現在の基本財産は1億円である。

※財務諸表では債券が時価評価となり、期末の基本財産は、106,468,000円となっている。

2. 評議員等

(1) 評議員（任期：平成24年4月1日～平成28年3月31日）

日本連合の評議員は7名以上10名以内である。平成25年3月31日現在の評議員は、評議員名簿（別表第1）のとおり9名で、平成24年度における評議員の異動はなかった。

(2) 役員（任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日）

日本連合の理事は7名以上10名以内、監事は2名以内である。平成25年3月31日現在の役員は、理事名簿（別表第2）のとおり理事9名、監事名簿（別表第3）のとおり監事2名で、平成24年度における理事の異動はなかった。

(3) アドバイザー

日本連合のアドバイザーは50名以内である。平成25年3月31日現在のアドバイザーは、アドバイザー名簿（別表第4）のとおり47名で、平成24年度におけるアドバイザーの異動はなかった。

3. 会 議

本連合の事業遂行のため、評議員会および理事会を以下のとおり開催し、事業遂行の重要案件を審議した。

(1) 評議員会の開催

1) 第1回評議員会

- ① 開催日時：平成24年6月20日（水）16:00～17:30
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館4階会議室
- ③ 参加者：出席8名、欠席1名
- ④ 審議事項
第1号議案 平成23年度事業報告ならびに収支決算に関する件
第2号議案 諸規程の制定等に関する件
第3号議案 常勤役員の報酬に関する件

(2) 理事会の開催

1) 第1回理事会（書面）

- ① 開催日時：平成24年4月2日（月）発信、同日承認可決

- ② 開催場所：書面により
- ③ 参加者：代表理事からの発信に、代表理事を除く理事8名、監事2名が署名により同意
- ④ 審議事項
第1号議案 公益財団法人日本ゲートボール連合の主たる事務所移転の件

2) 第2回理事会

- ① 開催日時：平成24年6月4日（月）16:10～17:20
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館4階会議室
- ③ 参加者：出席理事8名、欠席理事1名、出席監事2名
- ④ 審議事項
第1号議案 平成23年度事業報告ならびに収支決算に関する件
第2号議案 平成24年度定時評議員会の開催に関する件
第3号議案 諸規程の制定等に関する件
第4号議案 平成25年度日本財団等への助成金の申請に関する件

3) 第3回理事会

- ① 開催日時：平成25年3月1日（金）10:30～11:30
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館4階会議室
- ③ 参加者：出席理事8名、欠席理事1名、出席監事2名
- ④ 審議事項
第1号議案 平成24年度収支予算の一部補正に関する件
第2号議案 平成25年度事業計画ならびに収支予算に関する件
第3号議案 規程の一部改正に関する件
第4号議案 賛助会員の入会および脱退に関する件

(3) アドバイザリー会議の開催

都道府県加盟団体に1名のアドバイザーを委嘱し、地域との情報交換を目的にアドバイザー会議を開催し、参加者との活発な意見交換による日本連合の円滑な事業運営を図った。

1) 第1回アドバイザー会議

- ① 開催日時：平成24年11月29日（木）13:00～15:00
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館4階会議室
- ③ 参加者：本人出席37名、代理出席6名、欠席4名
- ④ 検討項目
 - a. 日本連合の事業展開について
 - b. 国民体育大会公開競技の実施について
 - c. 会員数の報告と会員名簿の提出について
 - d. JGU復興支援活動報告について
 - e. ゲートボール実態調査の結果概要報告について

4. 規程の制定および一部改正

(1) 規程の制定および一部改正

1) 新規制定した規程（34規程）

組織規程、職員就業規則、文書管理規程、文書の種類と形式に関する規程、職員給与規程、旅費規程、経理規程、物品取扱規程、職員退職手当支給規程、加盟団体および会員規程、ゲートボール振興基金規程、ゲートボール普及活動推進事業基金規程、個人情報保護規程、個人情報外部委託管理規程、アマチュア競技者規程、ドーピング防止規程、公式ゲートボール競技規則、ゲートボール大会開催規程、審判員規程、公認スポーツ（ゲートボール）指導者規程、ゲートボール技能認定規程、ゲートボール用具認定規程、公式リレーショー2 競技規則、公式リレーショー3 競技規則、ゲートボール功労者表彰規程、審判員功労者表彰規程、健康功労者表彰規程、加盟団体表彰規程、後援・協賛名義使用許可基準、会長賞交付規程、専門委員会規程、理事の職務権限規程、アドバイザー会議運営規程、役員および評議員の報酬ならびに費用に関する規程

2) 一部改正した規程（8 規程）

組織規程、理事の職務権限規程、加盟団体および会員規程、職員就業規則、職員給与規程、役員および評議員の報酬ならびに費用に関する規程、旅費規程、経理規程

3) 廃止した規程（3 規程）

公益財団法人日本ゲートボール連合理事選出規則、賛助会員規程、最初の評議員選任委員会規則

5. 事務局機構

平成25年3月31日現在の事務局機構は、別表第5のとおり2部4課であり、職員11名である。

6. 届出・登記事項

- ① 内閣府への届出
事業計画等 1 件
- ② 文部科学省への届出
事業状況等の報告 1 件
- ③ 日本体育協会への届出
事業状況等の報告 3 件
- ④ 日本レクリエーション協会への届出
事業状況等の報告 3 件
- ⑤ 日本アンチ・ドーピング機構への届出
公益財団法人への移行報告 1 件

III. 事業報告【公益目的事業】

平成24年度は、過去3年間に実施してきた「加盟団体連繋プログラム」を受けて、新たな事業として「基礎的条件等の整備」を展開することにより、組織改編と各種普及事業に着手した。

1. 普及および振興

(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）

平成23年度まで実施してきた連繋プログラムを引き継ぎ、加盟団体の組織強化を図りながら、指導体制の拡充、競技水準の向上、加盟団体の財務強化、情報伝達や広報手段の促進など、新たな愛好者の拡大を図るため、スポーツ産業の事業者など関係機関と協働し、ゲートボール界が更に発展するための基礎となる諸条件の整備を推進した。

1) 新たなカテゴリの指導法の開発

いままでに着手していなかった対象者への指導法の開発として、障害者や上級の指導員への資料作りに取り組んだ。また、初級者用の指導教本の作成を行った。

2) 新規用具の研究開発

ゲートボールではいまだ数の少ない、体験用の遊具や屋内用のボール、競技中のボール番号を認識しやすくするための番号表示を多くしたボールの試作などを行った。

3) イメージアップのための事業

多くの関係者から指摘をされているゲートボールのマナー向上を図るためのポスターの作成・配布を行った。

4) 広報および情報伝達の強化

本連合の行う事業内容の伝達としてゲートボールNEWSの発行・配信やホームページの改善、さらには専門家によるホームページの活用を充実させるための解析などを行った。

5) 各種検討会議の開催

今後の基礎的条件等の整備事業の内容の充実を図るため、より現場の実情や要望を反映させるべく、加盟団体役職員・ユース層のトップ選手・指定校の教諭・用具業者などを招集し、意見徴収を行うなどの検討会議を開催した。

6) 加盟団体フォローアップ事業の実施

各種普及事業を積極的に推進する意志があっても諸事情で実現できない加盟団体等を支援するとともに組織運営等に諸問題を抱える団体の実情調査や意見徴収、今後の活動方針について検討会議を行った。

7) 加盟団体マネジメントセミナーの開催

加盟団体間の相互理解を深めるとともに組織運営や業務効率を高め、時勢にあった重要課題をテーマにしたセミナーを開催した。

- ① 期 日 平成25年 2月25日（月）・26日（火）
- ② 会 場 品川プリンスホテル（東京都品川区）
- ③ 参加者 加盟団体役職員 55名
- ④ 内 容 〔講演〕

澤田康伸 ヴィブランド・コンサルティング 代表取締役
小川和茂 日本スポーツ仲裁機構 理解増進事業専門職員

(2) 学校スポーツとしての育成

国民体育大会正式競技種目参加のため、また、本来の全世代型スポーツを目指すためには愛好者の底辺拡大、全国高等学校体育連盟への加盟が不可欠であることから、中学校・高等学校でのゲートボール活動を支援し、ジュニア世代の育成を図る一方、ジュニア世代卒業後の受け皿として、全国ユースゲートボール連盟を支援した。

1) 中学・高等学校の普及活動を支援する助成事業

指定校事業も11期目を迎え、平成24年度より中学校も対象としたことから、全国各地の中学校・高等学校にゲートボールのクラブ・同好会の発足を促し、ゲートボール活動への支援・協力を行った。

平成24年度は新たに、中学校1校、高等学校4校を指定した。

① 第9期（平成22・23・24年度）

1	県立久比岐高等学校	新 潟	2	私立出雲西高等学校	島 根
---	-----------	-----	---	-----------	-----

② 第10期（平成23・24・25年度）

1	盛岡市立大宮中学校	岩 手	2	大崎中央高等学校	宮 城
3	聖和学園高等学校	宮 城	4	県立男鹿海洋高等学校	秋 田
5	県立庄内総合高等学校	山 形	6	県立鶴岡中央高等学校	山 形
7	県立榛生昇陽高等学校	奈 良	8	福智高等学校	福 岡

③ 第11期（平成24・25・26年度）

1	白樺学園高等学校	北海道	2	一関市立萩荘中学校	岩 手
3	県立蔵王高等学校	宮 城	4	植草学園大学附属高等学校	千 葉
5	クラーク国際記念高等学校 横浜青葉校	神奈川			

2) 第1回全国高等学校ゲートボール選手権大会（スポーツ振興くじ助成事業）

高等学校におけるゲートボール活動のさらなる活性化を目指して本大会を開催した。また、日本連合としては、はじめてリレーシヨン-3による競技を採用した。

- ① 期 日 平成24年10月6日（土）
- ② 開 催 地 静岡県伊豆市
- ③ 会 場 天城ドーム
- ④ 主 管 静岡県ゲートボール協会
- ⑤ 参加チーム 6チーム
- ⑥ 参加人数 39名
- ⑦ 成 績

順位	チ ャ ム 名	加盟団体
優 勝	大垣工業高等学校	岐 阜
準優勝	出雲西高等学校	島 根
第3位	朝霞高等学校	埼 玉

(3) リレーシヨン（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進

リレーシヨン-2、リレーシヨン-3は、少人数でチームを編成し、運動量豊富でスピーディーなゲームが展開できることから、ミドル層やジュニア層を中心に幅広い世代に支持されるようになり、各地域での競技会開催も定着してきた。

日本連合も高等学校選手権大会で採用し、全国大会等も視野に入れて普及に努めた。

(4) ジュニア国際交流事業

本事業は、アジア地域のジュニア・ユースを集め、日本で国際交流事業を実施する予定であったが、諸般の事情により取りやめた。

2. 競技力の向上

競技力を向上させるための事業の一環として、平成20年度より導入したゲートボール技能認定事業を継続的に実施している。平成24年度は、9加盟団体で実施し、281名が技能保持者として登録した。

1) 加盟団体別の技能認定登録者

加盟団体	受験者数	登録者数			登録者計	加盟団体	受験者数	登録者数			登録者計
		1級	2級	3級				1級	2級	3級	
北海道					72	滋賀					8
青森					0	京都	58	58			257
岩手	53	3	28	22	233	大阪					0
宮城	29	25	4		126	兵庫	75	51	3	5	439
秋田					0	奈良	2	2			15
山形	17	4	8	3	66	和歌山					14
福島					83	鳥取					0
茨城					21	島根					0
栃木					25	岡山					0
群馬					0	広島					0
埼玉					69	山口					0
千葉					32	徳島					14
東京	28	5	5		85	香川					10
神奈川					13	愛媛					12
新潟	77	5	28	20	521	高知					0
富山					0	福岡					148
石川					0	佐賀					79
福井	2	2			38	長崎					31
山梨					0	熊本					43
長野					254	大分					19
岐阜					62	宮崎					19
静岡					50	鹿児島					30
愛知					0	沖縄					25
三重					53	計	341	155	76	50	2,966

3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催

(1) 全国大会の開催

1) 笹川良一杯 第27回全国選抜ゲートボール大会（日本財団助成事業）

① 期 日：平成24年5月26日（土）・27日（日）

- ② 開催地：鹿児島県指宿市 指宿市営陸上競技場・野球場
- ③ 主管：鹿児島県ゲートボール協会
- ④ 参加チーム：187チーム（1,088名）
- ⑤ 成績

シニアクラス（48チーム）			シニアレディースクラス（48チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優勝	伊集院	鹿児島	優勝	小樽フレンズ	北海道
準優勝	すまいる	沖縄	準優勝	冠峠レディース	福井
第3位	カーニバル	大阪	第3位	スマイリ立山	富山
	鳥栖	佐賀		あかいわ	岡山
ミドルクラス（47チーム）			ミドルレディースクラス（44チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優勝	久慈 K・O・S	岩手	優勝	みなみレディース	茨城
準優勝	池田クラブ	岐阜	準優勝	岩手花巻	岩手
第3位	真撰組	長野	第3位	苫小牧スマイル	北海道
	大阪みどり	大阪		G・G・B大月レディース	山梨

※シニアクラス・シニアレディースクラス 65歳以上の男性・女性
 ミドルクラス・シニアレディースクラス 18歳以上65歳未満の男性・女性

2) 内閣総理大臣杯 第29回全日本世代交流ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ① 期日：平成24年7月28日（土）・29日（日）
- ② 開催地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
- ③ 主管：埼玉県ゲートボール連盟
- ④ 参加チーム：48チーム（311名）
- ⑤ 成績

順位	チーム名	加盟団体
優勝	小松島 B	徳島
準優勝	大阪みどり	大阪
第3位	フレンズスポーツ A	鹿児島
	山科コスモス	京都
敢闘賞	岐阜羽島	岐阜

※15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上の3世代の年齢の選手でチームを構成する。

3) 第17回全国ジュニアゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ① 期日：平成24年7月28日（土）・29日（日）
- ② 開催地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
- ③ 主管：埼玉県ゲートボール連盟
- ④ 参加チーム：72チーム（503名）

⑤ 成 績

ジュニア男子1部クラス (24チーム)			ジュニア女子1部クラス (19チーム)		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	福智高校 G B 男子	福 岡	優 勝	作 新 ク ラ ブ	栃 木
準優勝	東 広 島 ジュニア	広 島	準優勝	福智高校 G B 女子	福 岡
第 3 位	黒田庄ジュニア	兵 庫	第 3 位	宮 城 雀 娘	宮 城
	島 根	島 根		出雲西高校女子	島 根
ジュニア2部クラス (29チーム)			※ジュニア1部男子クラス 15歳以上18歳未満の男性 ※ジュニア1部女子クラス 15歳以上18歳未満の女性 ※ジュニア2部クラス 6歳以上15歳未満、性別不問		
順位	チーム名	加盟団体			
優 勝	大 泊 ドラえもん	鹿 児 島			
準優勝	大 垣 ジュニア B	岐 阜			
第 3 位	もりおか木曜クラブJS	岩 手			
	黒田庄エンジェルス	兵 庫			

4) 第14回全国社会人ゲートボール大会 (日本財団助成事業)

- ① 期 日：平成24年9月15日(土)・16日(日)
- ② 開 催 地：福島県郡山市 郡山総合運動場 開成山陸上競技場
- ③ 主 管：福島県ゲートボール協会
- ④ 参加チーム：32チーム (198名)
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	緑 風 会	徳 島
準優勝	札幌市役所クラブ	北海道
第 3 位	北 建 ジ ー ンズ	福 岡
	新日鐵君津製鐵所	千 葉

※同一都道府県内における、同一の官公庁・企業等で職業に従事する者でチームを構成する。

5) 文部科学大臣杯 第28回全日本ゲートボール選手権大会

- ① 期 日：平成24年10月27日(土)・28日(日)
- ② 開 催 地：福岡県福岡市 東平尾公園 博多の森陸上競技場
- ③ 主 管：福岡県ゲートボール連合
- ④ 参加チーム：48チーム (295名)
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	ブラジルクラブ	愛 知
準優勝	F C 笛 吹	山 梨
第 3 位	小 豆 島 豊 栄	香 川
	G B ファミリー	岡 山

※年齢・性別不問

(2) 地域大会の主催と都道府県大会への支援

1) 地域ゲートボール大会

地域愛好者のゲートボール技能向上、相互交流促進、情報交換のため、各地域において大会を開催し、ジュニア・ミドル・シニア各世代への普及促進を図った。

① 地域選手権大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
北海道	北海道	7月14日・15日	40	北見北進
東北	秋田	8月18日・19日	24 24	軽米町（無制限） 北上市（65歳以上）
北信越	新潟	6月2日・3日	100	堀川南
北関東	栃木	9月1日・2日	64	竜ヶ崎ドラゴンズ
南関東	神奈川	9月22日	32	ウイングッターB
東海	岐阜	11月19日	48	松平
近畿	滋賀	9月1日・2日	120	京都梅津
中国	岡山	10月6日・7日	40 20	上昇気流（一般） 黎明会（女子）
四国	愛媛	5月20日	48	ツーカー25
九州	佐賀	11月10日・11日	64	まなぶ会

② 地域ジュニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
南関東	神奈川	9月22日	2 2	クラークB（1部） さがみっ子（2部）
四国	徳島	8月19日	3	小松島ジュニア
九州	熊本	8月18日・19日	4	わいわいクラブA

③ 地域ミドル大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
四国	徳島	8月19日	3	水明荘
九州	熊本	8月18日・19日	20	姫

2) 都道府県ゲートボール大会

日本連合が主催する全国大会の都道府県予選会を支援し、選手の競技力の向上を図るとともに、加盟団体の全国大会に対する参加意識強化を促した。

4. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘

(1) アジアゲートボール組織の支援・充実（日本財団助成事業）

2012年11月6日～8日の3日間に亘り、アジアゲートボール連合主催のもと、第6回アジアゲートボール選手権大会が中国澳門特別行政区において開催され、日本連合もアジアゲートボール組織の支援・充実事業として本大会の運営協力を行った。今大会には過去最大の参加国数となる9つの国と地域から96チーム、計672名の監督・選

手の参加があり、中には大会初出場を果たしたオーストラリアとフィリピンのほか、1996年の第2回大会以来、インドネシアから16年ぶりの参加もあった。

日本からは前回（第5回）、前々回（第4回）大会の優勝チームであるフレンドスポーツ（鹿児島県）を含む11のチームが参加したが、本大会においてもフレンドスポーツが見事に優勝を果たし、史上初の3連覇という偉業を成し遂げた。なおフレンドスポーツは、予選リーグ戦を3戦3勝（うち2試合がパーフェクトゲームでの勝利）と圧倒的な強さでトーナメント戦に勝ち進み、トーナメント戦の対戦相手は、決勝戦までの5試合すべてが強豪中国との対戦であったが、危なげない試合運びで、見事3度目の優勝に輝いた。

なお、今大会の審判員は、6つの国と地域から112名が選任され、日本からも15名の国際審判員を派遣した。

1) 第6回アジアゲートボール選手権大会

- ① 主 催：アジアゲートボール連合
- ② 期 日：2012年11月6日（火）～8日（木）
- ③ 開 催 地：中国澳門特別行政区
- ④ 主 管：澳門門球總會
- ⑤ 参加チーム：96チーム（672名）

参加国・地域	参加 チーム数	参加人数	参加国際 審判員数
オーストラリア	1	9	
中 国	28	210	49
中 国 香 港	12	86	7
イ ン ド ネ シ ア	4	28	
日 本	11	63	15
韓 国	6	38	3
中 国 澳 門	16	112	4
フ ィ リ ピ ン	3	21	
チャイニーズ・タイペイ	15	105	34
合 計	96	672	112

加盟団体	参加人数
千 葉	3
東 京	3
新 潟	3
広 島	3
徳 島	3
合計	15

⑥ 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	F R I E N D S P O R T S フ レ ン ド ス ポ ー ツ	J A P A N 日 本
準 優 勝	CHINA SHANXI LINFEN TRAFFIC TEAM 中 國 山 西 臨 汾 交 通 隊	C H I N A 中 国
第 3 位	CHINA SHENZHEN SHAPUWEI 中 國 深 圳 沙 浦 隊	C H I N A 中 国
	H O N G K O N G T E A M 1 香 港 1 隊	HONG KONG CHINA 中 国 香 港

(日本代表チームの成績)

チーム名	加盟団体	リーグ戦		トーナメント戦
フレンズスポーツ	鹿児島	3勝0敗	トーナメント戦進出	優 勝
ザ ・ 小 樽	北海道	2勝1敗	リ ー グ 戦 敗 退	
ザ ・ 岩 手	岩 手	3勝0敗	トーナメント戦進出	3 回 戦 敗 退
宮 城	宮 城	2勝1敗	トーナメント戦進出	1 回 戦 敗 退
千葉なかよし	千葉	1勝2敗	リ ー グ 戦 敗 退	
B R A V E	東 京	2勝1敗	リ ー グ 戦 敗 退	
新 潟	新 潟	1勝2敗	リ ー グ 戦 敗 退	
越 前 福 井	福 井	0勝3敗	リ ー グ 戦 敗 退	
水 明 荘	徳 島	3勝0敗	トーナメント戦進出	2 回 戦 敗 退
福 岡	福 岡	0勝3敗	リ ー グ 戦 敗 退	
火 の 国	熊 本	0勝3敗	リ ー グ 戦 敗 退	

(2) 海外派遣事業 (日本財団助成事業)

日本連合は、国際交流活動の一環として世界各地の国際交流大会や普及活動へ選手や国際審判員、指導員を派遣している。

また、平成23年度に改正された競技規則・審判実施要領のさらなる周知を図るため、職員を派遣した。

さらに、これまでのホームページ等による広報活動の成果として、アフリカ地域へも普及が実現し、5大陸普及へ一歩前進した。

普及国・地域	実施日	事業内容	派遣者
日 本	5月8日～9日	第11回世界ゲートボール選手権大会 会場候補地視察	1名
リトアニア ラトビア	7月5日～13日	TAFISA第5回ワールド・スポーツ フォア・オール・ゲームズ参加	2名
日 本	8月27日～28日	第11回世界ゲートボール選手権大会 事前打合せ	2名
イギリス	1月27日～31日	ゲートボール普及活動	1名
ペルー ボリビア	3月7日～18日	公式ゲートボール規則改正伝達 および審判研修会実施	2名
アメリカ	3月15日～20日	USAゲートボール連盟との 情報交換	2名
南アフリカ	3月23日～30日	南アフリカにおける ゲートボール普及活動	2名

※リトアニアには会員13名を派遣した。

(3) 国際大会への日本チーム、国際審判員の派遣協力（日本財団助成事業）

派遣要請のあった国際大会・普及事業に日本チームおよび国際審判員の派遣協力を
行い、国際親善の促進に努め、平成24年度は以下のとおり、役員、職員等を派遣した。

普及国・地域	実施日	事業内容	派遣者
タイ	6月4日～9日	タイ国際親善 ゲートボール大会出席	1名
ブラジル	6月27日～ 7月5日	ブラジルゲートボール連合 創立30周年記念大会出席	2名
中国	8月6日～11日	2012日中ジュニア ゲートボール親善大会出席	1名
台湾	9月22日～23日	2012山城杯国際 ゲートボール選手権大会参加	選手 7名
香港	9月28日～ 10月1日	第1回アジア都市招待ユース ゲートボール選手権大会出席	2名
インドネシア	10月19日～23日	プラバナン国際 ゲートボール大会出席	2名
韓国	10月29日～ 11月1日	2012済州道知事杯国際 ゲートボール大会出席	2名
フィリピン	2月13日～19日	日比友好ゲートボール マニラ大会出席	3名

5. 競技規則に関すること

平成23年度に改正された公式競技規則について、平成27年の次期改正に向け諸準備に
着手した。

6. 指導者の養成**(1) 指導者の育成（日本財団助成事業）**

普及の現場で活躍する指導者の資質向上を図るため各種研修会を開催した。特に、
本年度は女性指導者の強化を重点においた。

1) 指導者研修会の開催

組織体制のさらなる充実を図るため、女性の役員・指導者の活動の重要性を再認
識し、組織に女性を登用する機運を醸成することをテーマにした研修会を開催した。

- ① 期 日 平成25年2月1日（金）
- ② 会 場 日本財団ビル（東京都港区）
- ③ 参 加 者 加盟団体役員ならびに女性役員・指導者 約80名
- ④ 内 容 〔基調講演〕
 笹川陽平 日本財団会長
 竹田恆和 日本オリンピック委員会会長

〔パネルディスカッション〕

松田千枝 元資生堂スポーツビューティコンサルタント

今井茂満 日本バトミントン協会 理事・事務局長

山口 香 筑波大学 体育系准教授

2) 審判研修会の開催

全国大会開催の加盟団体審判員を対象に、技能と資質向上を図るため、審判実施要領や競技規則、競技会の企画・運営方法等の研修会を実施した。

① 平成24年度「審判研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実施日	参加者数
鹿児島	ふれあいスポーツランド 指宿市営野球場	平成24年4月18日	161名
		5月13日	271名
埼玉	熊谷スポーツ文化公園	平成24年7月7日	101名
		7月12日	105名
福島	すばやく玉川	平成24年6月24日	74名
		8月26日	61名
福岡	社会福祉センター千鳥苑	平成24年6月3日	102名
		9月29日	93名
合 計			968名

(2) 公認指導者の養成

公認スポーツ指導者は日本体育協会が認定する資格であり、資格認定には一般教養科目と専門科目、双方の科目を履修する必要がある。

日本連合では、専門科目の履修に関する業務を担当しており、引き続き指導員資格取得の促進を図る一方、資格取得後の資質向上と資格更新のため、義務研修（4年に1回）の受講を奨励した。

また、上級指導員資格用の教本作成に着手した。

1) 専門科目および準指導員養成講習の検定試験（平成24年度）

実施団体	開催地	実施期間	受講者	合格者
長野	長野県松本市	平成24年6月12日～6月14日	13	13
新潟	新潟県三条市	平成24年8月3日～9月24日	22	22
合 計			35	35

2) 準指導員の登録者数（平成24年度）

平成24年度の準指導員登録更新者数は3名であった。

加盟団体	新規	更新	登録者数	加盟団体	新規	更新	登録者数
北海道			4	滋賀			
青森		1	1	京都			
岩手				大阪			
宮城				兵庫			
秋田				奈良			
山形				和歌山			
福島				鳥取			
茨城				島根			
栃木			1	岡山		2	9
群馬				広島			1
埼玉				山口			
千葉				徳島			
東京				香川			
神奈川				愛媛			
新潟				高知			
富山				福岡			2
石川				佐賀			
福井				長崎			2
山梨				熊本			
長野			1	大分			
岐阜			1	宮崎			
静岡				鹿児島			
愛知				沖縄			
三重			3	合計	0	3	25

3) 日本体育協会公認スポーツ指導者の登録者数（平成24年度）

加盟団体	登録者数	加盟団体	登録者数
北海道	21	滋賀	27
青森	7	京都	39
岩手	13	大阪	42
宮城	47	兵庫	33
秋田	9	奈良	3
山形	14	和歌山	2
福島	15	鳥取	4
茨城	24	島根	15
栃木	18	岡山	52
群馬	29	広島	47
埼玉	167	山口	9
千葉	46	徳島	25
東京	33	香川	46
神奈川	78	愛媛	14
新潟	135	高知	13
富山	5	福岡	23
石川	28	佐賀	10
福井	19	長崎	42
山梨	24	熊本	5
長野	322	大分	18
岐阜	79	宮崎	21
静岡	33	鹿児島	20
愛知	10	沖縄	2
三重	20	合計	1,708

7. 審判員の養成および認定

競技スポーツに必要な審判員の新規受験者・登録更新者の養成に努めた。

さらに、日本連合が主管して平成26年度に開催する第11回世界ゲートボール選手権大会に向けて、国際審判員のさらなる養成、資質向上に努めた。

(1) 国際審判員資格試験の実施

日本開催の第11回世界ゲートボール選手権大会に向け、国際審判員を養成するため、北信越地域、南関東地域、九州地域において、国際審判員資格試験を実施した。

1) 国際審判員登録者数一覧表（日本国内） ※平成24年度に登録完了した者

加盟団体	受験者数	合格者数	新規登録者数	登録更新者数	累計
埼 玉	1	1	1		1
千 葉	5	5	5		19
東 京	12	12	12		47
神 奈 川	8	8	8		13
新 潟	20	20	20		50
富 山	1	1	1		2
福 井					4
長 野					7
滋 賀					3
大 阪					8
兵 庫					9
奈 良					3
和 歌 山					1
鳥 取					2
島 根					10
岡 山					4
広 島					11
徳 島					7
香 川					11
福 岡	4	4	4		4
佐 賀	1	1	1		1
長 崎	6	6	6		6
熊 本	1	1	1		1
大 分	1	1	1		1
鹿 児 島	3	3	3		3
合 計	63	63	63	0	228

(2) 審判員資格試験の実施

競技を公正かつ円滑に実施するために必要不可欠な審判員の養成と技能向上を図るため、各級の審判員資格試験を実施した。

1) 受験者数および合格者数（平成24年度）

級	受験者	合格者	備考
1 級	493	491	42加盟団体で実施
2 級	870	867	42加盟団体で実施
3 級	4,037	4,035	46加盟団体で実施
合計	5,400	5,393	

※詳細は「審判員資格試験実施結果一覧表」（20ページ）参照

(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施

審判員の維持・管理、技能向上のため、加盟団体の協力を得て、各級の登録や審判員資格更新講習会を実施した。

また、85歳以上の審判員を対象とした永年審判員の登録を実施した。

なお、平成24年度の新規登録者数は5,129名、登録更新者数は36,878名となった。

1) 新規登録者数および登録更新者数

級	新規登録者	登録更新者	合計
1 級	453	5,343	5,796
2 級	836	5,639	6,475
3 級	4,042	26,798	30,840
合計	5,331	37,780	43,111

※詳細は「審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表」（21ページ）参照

(4) 永年審判員登録者数

	1 級	2 級	3 級	合計
新規登録者	11	3	5	19

※永年審判員の登録者数は「永年審判員級別一覧表」（23ページ）参照

審判員資格試験実施結果一覧表

平成25年3月31日

加盟団体	1 級			2 級			3 級	
	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	合格者数
北海道	17	0	17	26	0	26	112	112
青森	0	0	0	0	0	0	13	13
岩手	8	1	7	10	3	12	125	125
宮城	5	0	5	5	2	7	87	85
秋田	0	0	0	0	0	0	27	27
山形	12	0	12	11	1	13	39	39
福島	3	0	3	21	0	21	122	122
茨城	20	0	20	39	0	39	70	70
栃木	23	0	23	25	1	26	98	98
群馬	16	0	16	27	0	27	38	38
埼玉	18	0	18	23	0	23	109	109
千葉	4	1	5	36	1	38	54	54
東京都	22	1	23	25	1	26	184	184
神奈川県	19	0	20	30	0	28	165	165
新潟	37	0	37	41	0	41	223	223
富山	7	0	7	14	0	14	41	41
石川	12	0	12	22	0	22	18	18
福井	10	0	10	31	1	32	62	62
山梨	8	0	8	8	0	8	99	99
長野	46	0	46	79	0	79	206	206
岐阜	7	0	7	32	0	32	133	133
静岡	11	0	11	19	0	19	86	86
愛知	8	1	8	10	3	12	113	113
三重	16	0	16	21	0	21	82	82
滋賀	7	0	7	29	0	29	146	146
京都	8	0	8	35	0	34	98	98
大阪	21	0	21	28	0	28	221	221
兵庫	6	0	6	20	0	20	97	97
奈良	7	0	7	13	0	13	93	93
和歌山	10	0	10	5	0	5	33	33
鳥取	7	0	7	4	0	4	17	17
島根	5	0	5	15	0	15	52	52
岡山	3	0	3	13	0	13	39	39
広島	13	0	13	17	0	17	67	67
山口	9	0	9	11	0	11	14	14
徳島	4	0	4	9	0	9	160	160
香川	7	0	7	5	0	5	51	51
愛媛	2	0	2	7	0	7	38	38
高知	0	0	0	0	0	0	11	11
福岡	12	0	12	15	0	15	84	84
佐賀	5	0	5	16	0	16	95	95
長崎	7	0	7	7	0	7	90	90
熊本	0	0	0	0	0	0	0	0
大分	3	0	3	17	0	17	93	93
宮崎	17	0	17	23	0	23	51	51
鹿児島	7	0	7	13	0	13	155	155
沖縄	0	0	0	0	0	0	26	26
合計	489	4	491	857	13	867	4,037	4,035

審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表

平成25年3月31日

加盟団体	新規登録者数				登録更新者数				合計
	1級	2級	3級	小計	1級	2級	3級	小計	
北海道	19	28	112	159	184	184	814	1,182	1,341
青森	0	0	13	13	8	33	128	169	182
岩手	7	12	125	144	143	194	971	1,308	1,452
宮城	5	7	83	95	86	79	492	657	752
秋田	0	0	27	27	27	35	365	427	454
山形	12	13	59	84	168	109	317	594	678
福島	2	20	139	161	140	106	800	1,046	1,207
茨城	12	34	70	116	84	102	501	687	803
栃木	23	26	98	147	97	82	447	626	773
群馬	16	27	38	81	52	40	59	151	232
埼玉	18	23	159	200	286	152	1,052	1,490	1,690
千葉	5	38	64	107	98	129	553	780	887
東京	23	26	54	103	119	145	751	1,015	1,118
神奈川	19	28	160	207	190	225	1,005	1,420	1,627
新潟	37	41	243	321	177	235	1,506	1,918	2,239
富山	7	14	41	62	121	164	437	722	784
石川	12	22	31	65	73	113	140	326	391
福井	10	32	62	104	114	171	502	787	891
山梨	8	8	99	115	151	142	701	994	1,109
長野	34	69	256	359	478	353	1,393	2,224	2,583
岐阜	7	28	153	188	165	203	683	1,051	1,239
静岡	11	19	86	116	146	136	628	910	1,026
愛知	4	12	134	150	205	165	869	1,239	1,389
三重	16	21	82	119	62	125	515	702	821
滋賀	7	29	146	182	140	228	1,003	1,371	1,553
京都	8	32	97	137	184	201	794	1,179	1,316
大阪	15	25	221	261	0	4	850	854	1,115
兵庫	6	20	70	96	32	158	455	645	741
奈良	7	13	102	122	115	90	495	700	822
和歌山	10	5	33	48	2	7	35	44	92
鳥取	7	4	19	30	40	23	100	163	193
島根	5	15	52	72	118	117	904	1,139	1,211
岡山	3	13	39	55	134	94	466	694	749
広島	13	17	67	97	185	251	628	1,064	1,161
山口	3	6	16	25	25	36	112	173	198
徳島	4	9	160	173	70	70	244	384	557
香川	7	5	56	68	115	98	382	595	663
愛媛	2	7	42	51	53	49	319	421	472
高知	0	0	11	11	18	19	49	86	97
福岡	12	15	84	111	123	122	418	663	774
佐賀	5	16	98	119	67	58	550	675	794
長崎	7	7	90	104	154	157	519	830	934
熊本	0	0	0	0	59	124	373	556	556
大分	3	17	103	123	60	83	481	624	747
宮崎	15	20	61	96	67	54	267	388	484
鹿児島	7	13	61	81	187	145	1,443	1,775	1,856
沖縄	0	0	26	26	21	29	282	332	358
合計	453	836	4,042	5,331	5,343	5,639	26,798	37,780	43,111

審判員級別一覧表

平成25年3月31日

加盟団体	級	1 級	2 級	3 級	合 計
北海道		470	524	1,938	2,932
青森		19	73	266	358
岩手		289	430	2,184	2,903
宮城		229	203	1,051	1,483
秋田		74	68	576	718
山形		312	186	714	1,212
福島		312	238	2,143	2,693
茨城		193	275	1,021	1,489
栃木		261	178	1,089	1,528
群馬		175	109	336	620
埼玉		550	304	2,483	3,337
千葉県		234	273	1,111	1,618
東京都		266	292	1,847	2,405
神奈川県		389	433	2,322	3,144
新潟		569	564	3,877	5,010
富山		259	334	943	1,536
石川		185	206	317	708
福井		255	378	1,130	1,763
山梨		279	342	1,916	2,537
長野		959	733	3,330	5,022
岐阜		387	556	1,669	2,612
静岡県		337	343	1,338	2,018
愛知県		406	208	1,811	2,425
三重		211	256	1,240	1,707
滋賀		289	496	2,276	3,061
京都		374	460	1,836	2,670
大阪		245	319	2,145	2,709
兵庫県		231	480	1,511	2,222
奈良		301	215	1,114	1,630
和歌山		119	194	598	911
鳥取		116	95	229	440
島根		286	366	1,997	2,649
岡山		252	215	1,160	1,627
広島		350	403	1,435	2,188
山口		59	69	237	365
徳島		154	158	875	1,187
香川		234	199	862	1,295
愛媛		149	104	634	887
高知		48	32	143	223
福岡		257	254	1,147	1,658
佐賀		181	183	1,202	1,566
長崎		291	274	1,295	1,860
熊本		109	188	905	1,202
大分		184	291	1,647	2,122
宮崎		194	151	665	1,010
鹿児島		162	240	1,820	2,222
沖縄		42	46	729	817
合 計		12,247	12,938	63,114	88,299

永年審判員級別一覧表

								平成25年3月31日
加盟団体	級	平成24年度			累計数			合計
		1級	2級	3級	1級	2級	3級	
北海道		1	2	0	9	8	3	20
青森		0	0	0	2	1	0	3
岩手		0	0	0	5	0	0	5
宮城		2	0	3	12	20	22	54
秋田		0	0	0	0	0	0	0
山形		0	0	0	2	1	0	3
福島		0	0	0	5	0	0	5
茨城		0	0	0	1	0	0	1
栃木		0	0	0	2	0	0	2
群馬		0	0	0	0	0	0	0
埼玉県		0	0	0	2	1	0	3
千葉県		0	0	0	1	1	0	2
東京都		1	0	0	3	4	0	7
神奈川県		2	0	0	11	4	1	16
新潟		0	0	0	2	1	0	3
富山		0	0	0	0	0	0	0
石川		0	0	0	0	0	0	0
福井		1	0	0	1	0	0	1
山梨		0	0	0	1	0	1	2
長野		0	0	0	1	0	0	1
岐阜		0	0	0	1	5	2	8
静岡県		0	0	0	4	2	1	7
愛知県		0	0	0	7	1	0	8
三重		0	0	0	1	1	0	2
滋賀		0	1	1	8	4	2	14
京都		1	0	0	2	1	1	4
大阪		0	0	0	5	3	0	8
兵庫		0	0	0	0	0	0	0
奈良		0	0	0	0	0	1	1
和歌山		0	0	0	1	4	5	10
鳥取		0	0	0	0	0	0	0
島根		0	0	0	0	0	0	0
岡山		0	0	0	3	0	0	3
広島		0	0	0	5	2	2	9
山口		0	0	0	0	0	0	0
徳島		0	0	0	1	0	2	3
香川		0	0	0	0	0	0	0
愛媛		1	0	0	7	0	4	11
高知		0	0	0	3	0	0	3
福岡		0	0	0	0	1	0	1
佐賀		0	0	0	1	0	0	1
長崎		1	0	0	7	0	0	7
熊本		0	0	0	0	0	1	1
大分		0	0	0	0	0	0	0
宮崎		0	0	0	2	1	0	3
鹿児島		1	0	1	1	2	1	4
沖縄		0	0	0	0	0	0	0
合計		11	3	5	119	68	49	236

8. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定

ゲートボール用具認定規程や同実施要領に準拠し、競技を公正・安全に行うことを目的とした用具の認定基準に則り、第三者機関の安全検査に合格したゲートボール用具を認定する契約を14社と締結し、認定スティックへの認定証紙（シール）の貼付、認定ボールへの刻印を認めた。

9. ゲートボールに関する刊行物の発行

競技規則や審判実施要領等の書籍を刊行した。

また、各種の普及活動を効果的に展開するため、パンフレット等を作成・配布した。

10. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 功労者等の表彰

ゲートボールの普及発展に顕著な功績のあった方（ゲートボール功労者）、ゲートボールを通じて永年健康保持に努められた方（健康功労者）、10年以上審判員登録し功労のあった方（審判員功労者）を、表彰規程に基づき、加盟団体の推薦により表彰した。

また、会員の新規獲得や、各種普及事業への貢献度、公認審判員数、全国大会の参加率等を基準に顕著な成績を収めた加盟団体を表彰した。

1) 功労賞等の表彰結果

①	ゲートボール功労賞	43名	
②	健康功労賞	279名	
③	審判功労賞	229名	
④	加盟団体表彰	総合	第1位 埼玉県ゲートボール連盟
			第2位 香川県ゲートボール連盟
			第3位 京都府ゲートボール連合
	会員比審判員登録率（対前年比）の部		宮崎県ゲートボール協会
	全国大会参加率の部		神奈川県ゲートボール連合
		〃	新潟県ゲートボール連盟
		〃	愛知県ゲートボール連盟

(2) 国民体育大会

1) 公開競技開催準備

平成27年の第70回国民体育大会（和歌山大会）で、公開競技として実施するゲートボール競技の公開競技実施基準等の確認、今後の開催準備業務スケジュール等について、日本連合と和歌山県実行委員会、高野町、和歌山県ゲートボール協会とで協議した。なお、国体改革第1期（第70回～第73回）における国民体育大会の開催地およびゲートボール競技の会場地は以下のとおり。

回数	開催年	開催地	会場地市町村
第70回	平成27年	和歌山県	高野町
第71回	平成28年	岩手県	花巻市
第72回	平成29年	愛媛県	松山市
第73回	平成30年	福井県	若狭町

2) 正式競技種目採択のための活動

国体改革第2期（第74回～第77回）の実施競技において、日本連合では、日本体育協会および国民体育大会委員会に対し、正式競技としての参加を強く希望したところではあるが、競技団体基礎調査の結果、残念ながら第2期の実施区分においても公開競技として実施することが決定した。引き続き、今後も正式競技種目採択に向け、加盟団体、認定用品工業会のほか、ゲートボール振興議員連盟、関係団体等の協力を仰ぎながら、今後も、文部科学省、日本体育協会、都道府県体育協会に働きかけを行っていく。

(3) 各種大会への後援

官公庁・行政・自治体および関係団体等が主催する大会等に協力し、更なるゲートボールの普及と生涯スポーツの振興に寄与した。

1) 加盟団体以外の団体等が主催したゲートボール大会等への後援

事業名	主催者	開催地	開催期日
第24回さくらんぼゲートボール全国大会	さくらんぼゲートボール全国大会実行委員会	山形県 東根市	6月20日～ 6月21日
第25回記念発祥の地杯全国ゲートボール大会	芽室町 芽室町教育委員会	北海道 芽室町	9月1日～ 9月2日
第25回全国健康福祉祭宮城・仙台大会（ねんりんピック）	ねんりんピック宮城・仙台 2012 蔵王町実行委員会	宮城県 蔵王町	10月13日～ 10月15日
第21回小豆島オリーブ杯ゲートボール全国大会	小豆島オリーブ杯ゲートボール全国大会実行委員会	香川県 小豆島町	3月2日～ 3月3日

(4) 調査・科学的研究の推進および事故防止

1) 調査研究の実施

平成23年度に実施した「ゲートボール実態調査」の内容を再分析したことで、ゲートボールの現状ならびに今後の対策を把握できたことから、新聞等のマスコミに対応したほか、加盟団体へも周知を図り、地域レベルでの広報対応を促した。

また、ゲートボール競技参加に係る事故にあった会員に見舞金を支給するとともに、事故の事例を収集し、ゲートボール活動中の事故防止の啓発に努めた。

平成24年度の見舞金対象者は117,472名となり、前年度と比較して10,950名減少した一方、支給件数は前年比17件の増加となった。

① 年度別事故防止事業運営実績一覧

年 度	対象者数	支給件数	死 亡	入 院	通 院	見舞金支給額(円)
昭和62年度	249,314	411	26	119	266	34,100,000
昭和63年度	271,371	504	32	178	294	43,895,000
平成1年度	298,674	414	37	138	239	40,545,000
平成2年度	301,400	474	28	189	257	38,600,000
平成3年度	313,280	507	43	173	291	49,655,000
平成4年度	302,957	480	46	192	242	49,775,000
平成5年度	299,854	412	23	155	234	32,580,000
平成6年度	292,867	398	25	148	225	34,260,000
平成7年度	289,263	364	24	153	187	33,040,000
平成8年度	286,614	395	40	160	195	44,750,000
平成9年度	285,943	378	21	167	190	30,940,000
平成10年度	284,074	386	37	172	177	41,120,000
平成11年度	281,196	316	24	128	164	29,355,000
平成12年度	282,074	385	27	158	200	33,990,000
平成13年度	269,960	351	33	150	168	39,195,000
平成14年度	262,324	304	30	131	143	33,100,000
平成15年度	252,923	311	21	154	136	29,280,000
平成16年度	237,006	278	23	124	131	26,130,000
平成17年度	222,926	257	19	111	127	23,655,000
平成18年度	207,053	219	14	107	98	19,145,000
平成19年度	188,361	195	12	90	93	16,845,000
平成20年度	174,202	157	9	88	60	14,845,000
平成21年度	159,622	193	20	84	89	23,075,000
平成22年度	145,138	141	13	70	58	16,160,000
平成23年度	128,422	110	4	51	55	5,395,000
平成24年度	117,472	125	8	50	67	5,975,000

② 平成24年度ランク別傷病件数

傷病	Aランク			Bランク			Cランク			合 計			
	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	計
骨 折	0	14	18	0	0	0	0	9	5	0	23	23	46
打 撲	0	1	10	0	0	0	0	0	7	0	1	17	18
挫 傷	0	1	5	0	0	0	0	0	3	0	1	8	9
捻 挫	0	0	4	0	0	0	0	0	6	0	0	10	10
心臓器障害	0	0	0	3	1	0	0	0	0	3	1	0	4
脳疾患	0	1	0	3	10	0	0	1	0	3	12	0	15
その他	0	1	6	1	11	1	1	0	2	2	12	9	23
合計	0	18	43	7	22	1	1	10	23	8	50	67	125

③ 平成24年度見舞金対象者数および事故発生状況一覧表

加盟団体	見舞金対象者数	支給件数	Aランク	Bランク	Cランク	死亡	入院	通院
北海道	1,177	2	1	0	1	0	2	0
青森	598	0	0	0	0	0	0	0
岩手	4,301	4	2	1	1	0	3	1
宮城	3,804	10	2	3	5	1	3	6
秋田	1,438	1	0	1	0	0	1	0
山形	2,133	0	0	0	0	0	0	0
福島	4,136	5	3	1	1	1	0	4
茨城	2,300	2	1	1	0	0	1	1
栃木	2,806	6	0	2	4	1	1	4
群馬	1,816	0	0	0	0	0	0	0
埼玉	5,709	8	5	1	2	1	2	5
千葉	2,232	3	1	0	2	0	0	3
東京	1,319	1	1	0	0	0	0	1
神奈川	3,350	1	0	0	1	0	1	0
新潟	8,365	9	4	3	2	0	5	4
富山	2,081	0	0	0	0	0	0	0
石川	793	1	1	0	0	0	1	0
福井	2,744	1	0	1	0	0	1	0
山梨	3,215	6	3	0	3	0	1	5
長野	6,470	7	4	1	2	1	2	4
岐阜	3,642	1	1	0	0	0	0	1
静岡	2,688	3	1	1	1	1	2	0
愛知	2,608	2	2	0	0	0	0	2
三重	2,185	0	0	0	0	0	0	0
滋賀	4,708	4	0	2	2	2	1	1
京都	3,304	1	0	0	1	0	0	1
大阪	3,150	0	0	0	0	0	0	0
兵庫	3,570	8	5	1	2	0	3	5
奈良	1,556	2	2	0	0	0	0	2
和歌山	1,084	2	1	0	1	0	0	2
鳥取	717	0	0	0	0	0	0	0
島根	3,193	2	2	0	0	0	2	0
岡山	2,047	0	0	0	0	0	0	0
広島	2,867	4	4	0	0	0	1	3
山口	726	1	0	1	0	0	1	0
徳島	939	4	0	2	2	0	3	1
香川	1,118	1	0	1	0	0	1	0
愛媛	837	4	3	0	1	0	0	4
高知	164	0	0	0	0	0	0	0
福岡	1,904	3	2	1	0	0	1	2
佐賀	2,057	1	1	0	0	0	1	0
長崎	2,598	4	4	0	0	0	2	2
熊本	2,629	5	3	2	0	0	3	2
大分	2,245	3	0	3	0	0	3	0
宮崎	456	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	3,024	3	2	1	0	0	2	1
沖縄	669	0	0	0	0	0	0	0
合計	117,472	125	61	30	34	8	50	67

2) ドーピング防止活動の協力推進

日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の指導のもと、ドーピングの防止活動を行った。

今後も、国民体育大会の公開競技への参加も鑑み、ドーピングに関する啓蒙活動を推進する。

(5) 広報事業

「日本連合公式ホームページ」を随時更新して、ゲートボールに関する情報を国内外に伝達した。

また、ゲートボール情報誌「ゲートボールNavi」を1回発行し、見舞金対象者に配付すると同時に、アンケート調査を実施して、今後の情報誌の方向性を探った。

さらに、テレビ、新聞等マスコミ各社に対しても、全国大会の告知のほか適宜ニュースリリース等を配信し、ゲートボールの多様な価値と役割、特に地域の活性化や高齢化社会におけるニーズ等を広く社会にアピールした。

1) 通信衛星放送による普及啓蒙番組「スーパーゲートボール」の製作と放映

平成24年度も、全国大会の放映を中心に番組制作し、再放送分を加えて放映した。

- ① 期 間 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
- ② 制作配信 日本レジャーチャンネル
- ③ 配信方法
 - a. スカイパーフェクTV! 380ch
 - b. ケーブルテレビ164局（平成24年3月31日現在）
- ④ 放送回数 365回（毎朝6:00～6:55）

2) 情報誌発行事業（スポーツ振興くじ助成事業）

ゲートボール情報誌を発行し、ホームページを閲覧する環境にない会員にも広く情報を提供するとともに、日本連合のホームページにも掲載して自由にダウンロードできるように設定した。

- ① 名 称 等：ゲートボールNavi（A4版、縦、一部カラー、本文28ページ）
- ② 発 行 日：平成24年7月
- ③ 発 行 数：130,000部
- ④ 配 付 先：見舞金対象者ほか

(6) 会員データシステムの構築・整備

日本連合が運用している審判員、見舞金対象者等のデータ一元化により日本連合と加盟団体の事務の効率化を図るため、「会員データシステム」の整備を進め、基本システムを加盟団体に実際に操作してもらい、より操作性の良いシステム作りを目指した。

(7) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集

日本連合の諸事業の一層の充実と発展を図るため、寄附金・賛助金および協賛企業等を募集した。

1) 賛助会員31社（平成25年3月31日現在）※順不同

会社名	所在地
株式会社ニチヨー	栃木県足利市堀込町2541
株式会社サンシャインスポーツ	長野県松本市島内5330
株式会社サン	新潟県三条市下須頃5-1
株式会社ワールドダイヤモンド	東京都世田谷区成城5-9-14
株式会社シャトル	福井県越前市家久町87-21-1
株式会社ロンウッド	富山県南砺市法林寺518
株式会社本郷	広島県廿日市市木材港北1-4
株式会社サンラッキー	大阪府大阪市東成区大今里3-12-23
株式会社ティエヌケイ	埼玉県川越市松江町1-12-8
有限会社福島木工所	熊本県熊本市中央区世安町36
有限会社やるき産業	熊本県熊本市東区西原2-11-49
羽立工業株式会社	静岡県湖西市新所3
株式会社ウシクボ	東京都墨田区東向島6-15-7
井上工業株式会社	兵庫県加東市上滝野1613
トップツアー株式会社	東京都新宿区西新宿7-5-25
大日本トラベル株式会社	東京都港区新橋4-6-6
東日観光株式会社	東京都中央区築地4-7-5
近畿日本ツーリスト株式会社	東京都千代田区神田松永町19-2
名鉄観光サービス株式会社	東京都品川区西五反田2-12-3
株式会社日本旅行	東京都新宿区左門町16-1
株式会社大真	東京都千代田区岩本町3-4-5
株式会社天賞堂	東京都中央区銀座4-3-9
株式会社かいせい	東京都港区西新橋2-15-3
株式会社恒亜印刷	東京都文京区千石2-4-5
エーアンドエー株式会社	東京都千代田区西神田3-3-5
株式会社アオイスports企画	東京都稲城市矢野口3266-1
株式会社サンワ	埼玉県戸田市新曾2002
株式会社東京ビー・エム・シー	東京都港区西新橋2-2-4
東京海上日動あんしんコンサルティング株式会社	東京都中央区築地5-6-10
株式会社イルマックス	東京都墨田区緑2-11-2
株式会社ジェイティービー	東京都品川区東品川2-3-11

2) 大会協賛企業（順不同）

山崎製パン株式会社	東日観光株式会社
財団法人競艇振興センター （通称：BOATRACE振興会）	株式会社シャトル
	株式会社ティエヌケイ
株式会社日本レジャーチャンネル	株式会社サンシャインスポーツ
株式会社日本旅行	有限会社やるき産業
近畿日本ツーリスト株式会社	株式会社ニチヨー
名鉄観光サービス株式会社	株式会社本郷

3) 寄付金

平成24年度において、団体運営に対する一般寄付・指定寄付はなかった。

(8) 東日本大震災復興支援事業

平成23年の東日本大震災について、日本連合では被災地支援のための募金活動を展開し、各種支援活動を行ってきたが、大震災発生後2年を経過したこともあり、平成24年度にて支援事業を終了した。

支援内容としては、被災者への弔慰金・見舞金の支給の他、現地の要望を調査し、スティック・ボール等のゲートボール用具、テントや放送機材、机・いす等の物品を要望に沿って配付した。

なお、平成22年度、平成23年度分を含め、全国のゲートボール愛好者等から寄せられた寄付金収入は総額48,955,941円となり、支援支出は、加盟団体支援金3,800,000円、見舞金等21,260,000円、物品支援11,609,958円、日本財団への寄付12,300,000円の、総額48,969,958円となった。

また、日本オリンピック委員会と日本財団が実施した「エール FOR 日本」に賛同し、チャリティポロシャツを作製して全国の愛好者に支援の協力を呼びかけたところ、30,000人を超える愛好者から44,339,897円の寄付が集まり、ポロシャツ作製等の活動経費を除き11,000,000円を寄付した。

なお、「エール FOR 日本」の支援金は、被災地のジュニアアスリーートのロンドンオリンピック招待のほか、スポーツの力で被災地を笑顔にする活動、被災地の子供たちへのスポーツ用品の寄贈等に充てられる。

【参考：各種名簿】

別表第1 評議員：任期4年（7名以上10名以内）

平成25年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
荒木田裕子	公益財団法人日本オリンピック委員会 理事	
岡 崙 修 平	シップ・アンド・オーシャン財団 常務理事	
児 玉 義 人	鹿児島県ゲートボール協会 会長	
広 渡 英 治	公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 理事長	
藤 川 務	株式会社日本レジャーチャンネル 代表取締役社長	
本 郷 明 義	広島県ゲートボール連合 会長	日本ゲートボール 認定用品工業会会長
三ツ谷洋子	株式会社スポーツ21エンタープライズ 代表取締役	
若 林 静 子	一般財団法人新潟県ゲートボール連盟 理事長	
渡 邊 一 利	公益財団法人笹川スポーツ財団 常務理事	

別表第2 理事：任期2年（7名以上10名以内）

平成25年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
小 野 清 子	公益財団法人日本ゲートボール連合 会長	代表理事
遠 藤 容 弘	公益財団法人日本ゲートボール連合 専務理事	業務執行理事
石 川 牧 子	株式会社日テレイベンツ 常務取締役	
梅 村 和 伸	公益財団法人全国高等学校体育連盟 専務理事	
小 池 保 夫	一般財団法人日本モーターボート競走会 理事長	
小 高 幹 雄	BOATRACE振興会 会長	
鈴 木 克 昌	愛知県ゲートボール連盟 会長	衆議院議員 (元蒲郡市長)
中 村 博 彦	徳島県ゲートボール協会 会長	参議院議員
船 田 元	栃木県ゲートボール協会 会長	衆議院議員

別表第3 監事：任期2年（2名以内）

平成25年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
西 本 克 己	株式会社東京ビー・エム・シー 代表取締役社長	
天 城 一	公益財団法人社会貢献支援財団 専務理事	

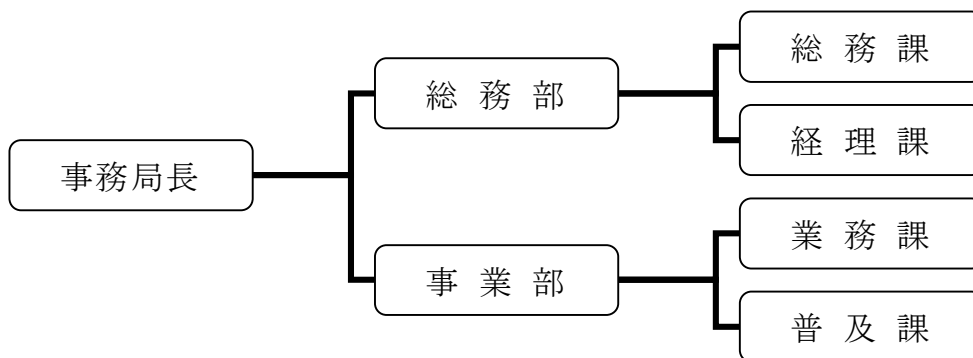
別表第4 アドバイザー

平成25年3月31日現在

氏名	加盟団体	氏名	加盟団体
戸部 英一	北海道 G B 連合	山本 議照	滋賀県 G B 連盟
久米田 勇二	青森県 G B 協会	鈴木 信久	京都府 G B 連合
谷藤 正志	岩手県 G B 協会	宮本 泰子	大阪 G B 連盟
佐藤 黎子	宮城県 G B 連盟	田桑 稔	兵庫県 G B 連合
佐々木 兼光	秋田県 G B 協会	上西 綱雄	奈良県 G B 協会
栴田 敏行	山形県 G B 協会	栩野 一美	和歌山県 G B 協会
石井 賢明	福島県 G B 協会	中村 孝太郎	鳥取県 G B 協会
石引 義男	茨城県 G B 連合会	梶田 郁宗	島根県 G B 協会
小口 孝夫	栃木県 G B 協会	瀧口 壽美男	岡山県 G B 協会
根萩 壽雄	群馬県 G B 協会	政本 隆延	広島県 G B 連合
元永 厚雄	埼玉県 G B 連盟	中田 憲明	山口県 G B 協会
石井 準一	千葉県 G B 連盟	宮本 實	徳島県 G B 協会
高橋 純一	(特)東京 G B 連合	川畑 省三	香川県 G B 連盟
岡田 喜久雄	神奈川県 G B 連合	豊田 義登	愛媛県 G B 連合
阿部 忠孝	(一財)新潟県 G B 連盟	山内 高	高知県 G B 協会
南 民生	(特)富山県 G B 協会	月岡 美次郎	福岡県 G B 連合
小林 繁樹	石川県 G B 協会	古賀 俊弘	佐賀県 G B 協会
古崎 邦夫	福井県 G B 協会	音辻 喜代春	長崎県 G B 協会
加藤 晃夫	山梨県 G B 協会	中嶋 利秋	熊本県 G B 連合
三ツ井 盈	長野県 G B 連盟	小野 悟	大分県 G B 協会
山崎 盛久	岐阜県 G B 連盟	渡辺 徹雄	宮崎県 G B 協会
土居 征夫	静岡県 G B 協会	上川 勝則	鹿児島県 G B 協会
鈴木 克昌	愛知県 G B 連盟	玻名城 英僖	沖縄県 G B 連合
宮田 淳	三重県 G B 連合会		

別表第5 事務局組織図

平成25年3月31日現在



平成24年度事業報告における附属明細書

平成24年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

平成25年5月

公益財団法人日本ゲートボール連合

前記のとおり相違ありません。

平成25年 5 月 14 日

公益財団法人日本ゲートボール連合

会 長 小 野 清 子

平成24年度の事業報告書を監査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成25年 5 月 16 日

監 事 西 本 克 己

監 事 天 城 一